

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、別掲の項目につきまして本年4月より検査方法および基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬 具

記

### 変更内容

- 別掲（裏面）の一覧表をご参照下さい。

### 変更期日

- 平成30年4月2日（月）受付日分より

## ●検査内容変更項目一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
518	ヘモグロビン F (胎児ヘモグロビン)(HbF)	備考	(削除)	ヘパリン加血液も検査可。	検査材料の見直し
2095	脂肪酸 4 分画	報告成分	アラキドン酸(AA) エイコサペンタエン酸(EPA) ジホモ-γ-リノレン酸(DHLA) ドコサヘキサエン酸(DHA) EPA/AA 比 DHA/AA 比 (EPA+DHA)/AA 比	アラキドン酸(AA) エイコサペンタエン酸(EPA) ジホモ-γ-リノレン酸(DHLA) ドコサヘキサエン酸(DHA) EPA/AA 比	報告成分の追加
669	鉛(Pb)	基準値	1.0μg/dL 以下	20μg/dL 以下	基準値の見直し
843	オリゴクローナルバンド 《等電点電気泳動法》	検査方法	等電点電気泳動法 [ヘレナ研究所]	等電点電気泳動法 [GEヘルスケア・ジャパン]	検査試薬の販売中止
2270	25-OHビタミン D 分画	提出容器 報告下限	採取容器番号:01 →提出容器番号:02 1.0 ng/mL 未満	採取および提出容器番号:01 4.0 ng/mL 未満	提出容器および報告 下限の見直し
2209	ADAMTS13 インヒビター定性	所要日数	3~5 日	3~6 日	
2288	ADAMTS13 インヒビター定量	所要日数	3~5 日	3~6 日	
605	HBc 抗体《精密測定》	報告成分	判定 S/CO 値	判定 濃度	報告成分名称の適正化
1604	ゲンタマイシン	採血時期	点滴開始 1 時間後(30 分 で投与した場合、終了 30 分 後)(ピーク) 投与前 30 分以内(トラフ)	筋注 :投与後 0.5~1 時間 点滴静注:終了直後(ピーク) および 次回投与直前(トラフ)	抗菌薬 TDM ガイドライン 2016 に準拠
—	トブラマイシン				
648	アミカシン				
1580	アルベカシン	採血時期	点滴開始 1 時間後(30 分 で投与した場合、終了 30 分 後)(ピーク) 投与前 30 分以内(トラフ)	筋注 :投与後 0.5 時間 点滴静注:終了直後(ピーク) および 次回投与直前(トラフ)	
1448	バンコマイシン	採血時期	投与前 30 分以内(トラフ)	投与直前(トラフ)	
1582	テイコプラニン				
1358	塩酸ピルジカイニド	検査項目名	ピルシカイニド	塩酸ピルジカイニド	検査項目名称の適正化
1548	コハク酸シベンゾリン	検査項目名	シベンゾリン	コハク酸シベンゾリン	
2162	ミコフェノール酸モフェチル	検査項目名	ミコフェノール酸	ミコフェノール酸モフェチル	
1378	17-ケトステロイド 3 分画	提出容器	容器番号:25	容器番号:26	提出容器の見直し
1386	17-ケトステロイド 7 分画				
—	ステロイド 10 分画				
728	プレグナンジオール(P <sub>2</sub> )				
729	プレグナントリオール(P <sub>3</sub> )				
106	尿沈渣	検査方法 報告単位 実施料	フローサイトメトリー法 /HPF 24 点(尿便)*	遠沈鏡検法 /F 27 点(尿便)*	*実施料は当該保険医療 機関内で検査を行った場 合のみ算定できます。
103	尿中一般物質定性検査 蛋白定性 糖定性 ウロビリノーゲン定性	報告上限	(+++)	(++++)	
104					
105					
111	尿比重	検査方法 基準値	屈折計法 1.006~1.030	試験紙法 1.005~1.030	
162	髄液一般検査	測定項目	比重 細胞数、細胞種類 トリプトファン	比重 細胞数、細胞種類 ノンネアペルト パンディ トリプトファン	臨床検査法提要記載 項目
186	穿刺液細胞分類 (白血球分類)	項目コード 検査方法 検査成分 所要日数	188 機械測定 細胞数 /μl リンパ球 % 好中球 % 組織球 % 2~3 日	186 計算板鏡検目視 細胞数 /μl 単核球 % 多核球 % 1~2 日	